

B型肝炎ウイルス（HBs 抗原）陽性

C型肝炎ウイルス（HCV）抗体陽性 の患者さんへ

\_\_\_\_\_  
様の

HBs 抗原・HCV 抗体は、陽性です。

通常、B 型・C 型慢性肝炎の診断は、以下のように行います。

検診・抗体検査

HBs 抗原・または HCV 抗体陽性

↓

専門医療機関にて精密検査

採血検査、画像検査（エコー、CT、MRI など）

（※必要に応じて検査入院、肝生検）

※ただし、C 型の場合は精密検査の結果、抗体陽性者であっても C 型慢性肝炎でない場合もあります。その場合はそれ以上の精査・通院は必要ありません。

B 型または C 型慢性肝炎と確定診断された場合には

治療必要度と肝細胞がん発生のリスクに応じて

1) 抗ウイルス治療

C 型；インターフェロン治療、リバビリン併用療法

B 型；核酸アナログ製剤による治療

2) 肝細胞がんの治療

3) 定期検査（採血、画像検査）

※長岡市肝炎診療パスを用いた診療の可能な医療機関は、立川総合病院、長岡赤十字病院、長岡中央総合病院です。いずれの病院でも、同様の診断・治療をしています。

B 型または C 型慢性肝炎と確定診断され、上記の 1)、2)に相当する場合は、  
専門施設で治療をお受け下さい。

3)に相当し、定期検査や投薬が必要な場合は、長岡地区共通の医療連携パスに従って、お近くの医院と専門病院を交互に受診しながら検査、治療が可能です。

出来るだけ、早いうちに専門の医療機関を受診ください。

平成 年 月 日 医療機関名 \_\_\_\_\_

医師 \_\_\_\_\_